



# あまりに激しく圧倒的な愛に心震える、映画史に残る愛の物語

驚くほど美しい、最高傑作!

— The Observer

とにかく素晴らしいこの映画を見逃してはならない。

— Pajiba

いつまでも記憶に残る、愛と追憶のストーリー。

— IndieWire

強烈で生き生きとした油絵のような映画。

— Screen International



シャーン・セロン、グザヴィエ・ドランら、今を煌めく映画人が大絶賛!  
世界各国の映画賞を44受賞、124ノミネート!

8/25現在

シャーン・セロンが「この映画を本当に愛している」と絶賛、ブリー・ラーソンは「後世に残したい作品」に本作を挙げ、  
天才監督グザヴィエ・ドランを「こんなにも繊細な作品は観たことがない」と夢中にさせた本作。

カンヌでは脚本賞を受賞し、ゴールデン・グローブ賞と英国アカデミー賞の外国語映画賞にノミネート。

さらにWEBメディア「IndieWire」の「世界の批評家304人による2019年ベストフィルム」第5位に選出され、

アメリカでは過去公開された外国語映画の歴代トップ20入りを果たす大ヒットとなった。

世界の映画人を次々に虜にする必見の一作が、日本でもついにベールを脱ぐ。



18世紀、フランス、ブルターニュの孤島  
望まぬ結婚を控える貴族の娘と、彼女の肖像を描く女性画家  
結ばれるはずのない運命の下、一時の恋が永遠に燃え上がる

画家のマリアヌはブルターニュの貴婦人から、娘のエロイズの見合いのための肖像画を頼まれる。だが、エロイズ自身は結婚を拒んでいた。身分を隠して近づき、孤島の屋敷で密かに肖像画を完成させたマリアヌは、真実を知ったエロイズから絵の出来栄を否定される。描き直すと決めたマリアヌに、意外にもモデルになると申し出るエロイズ。キャンバスをはさんで見つめ合い、美しい島を共に散策し、音楽や文学について語り合ううちに、恋におちる二人。約束の5日後、肖像画はあと一筆で完成となるが、それは別れを意味していた。監督は、輝かしい受賞歴を誇るセリーヌ・シヤマ。マリアヌには本作でセザール賞にノミネートされたノエミ・メルラン。エロイズにはシヤマ監督の元パートナーで、セザール賞2度受賞のアデル・エネル。フランスで今最も熱い称賛をまとう女優だ。そのひとの眼差しを、唇を、微笑みを、そして別れの瞬間の姿を思い出すだけで、息が止まるほど愛おしく切なく、蘇る情熱が命を満たす。そんな鮮烈な恋の、決して消えることのない燃ゆる炎を描く、忘れ得ぬ愛の物語。

燃ゆる女の肖像

[gaga.ne.jp/portrait](http://gaga.ne.jp/portrait)

監督・脚本：セリーヌ・シヤマ「氷の中のつばみ」 出演：アデル・エネル「午後8時の訪問者」、ノエミ・メルラン「不妻な女と官能詩人」  
原題：Portrait de la jeune fille en feu / 英題：Portrait of a lady on fire | フランス | カラー | ヨーロピアンピクチャ | 5.1chデジタル | 122分 |

字幕翻訳：横井和子 配給：ギャガ GAGA The copyright for the pictures is © Lilies Films.

[portraitmoviejp](https://twitter.com/portraitmoviejp) [portraitofaladyonfire\\_jp](https://www.instagram.com/portraitofaladyonfire_jp) [facebook.com/gagajapan](https://www.facebook.com/gagajapan) [gagamovie](https://www.youtube.com/channel/UCgagamovie)



# 12.4 FRI Roadshow